

# 公園等危険木伐採業務委託（その3）に係る特記仕様書

## 1 適用の範囲

本仕様書は、公園等危険木伐採業務委託（その3）に関する必要事項を定めるものです。

## 2 業務の目的・内容

本業務は、病虫害により枯死した樹木の倒木による事故を未然に防止するため、危険木を安全に伐倒することを目的としています。

危険木とは、枯損が進行し倒木により家屋や道路等園内に損傷や危険を及ぼすものです。

対象樹木は、令和7年度実施した点検により抽出された危険木とします。

## 3 一般事項

- （1）作業にあたっては、業務の目的と影響を十分に理解し、対象植物の性質や生育状況を考慮して細心の注意を払い、植物への愛情を持って作業を行うこと。
- （2）設計図書に記載されている業務内容については、現場確認および監督員との立会いを通じて範囲などを相互に確認すること。
- （3）公園緑地内に作業用機械を乗り入れる場合、作業終了後は必ず整地を行うこと。
- （4）伐採等により発生した幹及び枝葉等については、原則株式会社リテック座間工場（座間市小松原1丁目18-31）へ搬入し、一般廃棄物として処理を行うものとする。ただし、一部の幹については利活用を目的として、監督員と協議のうえ、別紙に示す木材置場（相模原市南区麻溝台3412番2地先 別紙）へ搬入するものとする。なお、木材置場は、他業者が同時期に搬入することから、監督員の指示のもと、置き場所、積み方に配慮すること。

## 4 業務の履行

業務の履行箇所及び内容については、別に定める。

## 5 伐採

### （1）一般事項

- ア 作業にあたっては、周辺樹木、施設、民家等を損傷しないよう、必要に応じて養生を行い注意深く行うこと。
- イ 切断は、切り株が露出しないよう処理する。ただし、監督員の指示がある場合は、その指示に従うこと。
- ウ 抜根を行った場合は、速やかに良質な客土を用いて埋戻し整地を行い、安全を確保すること。

エ 公園緑地内でクローラ型運搬車両を使用する場合、十分に養生を行い、園路を損傷しないよう配慮すること。養生が困難で轍等による損傷が発生した場合は、作業終了後に必ず整地を実施すること。

(2) 吊るし切り

人家裏の急傾斜地等、通常の方法では伐採できないところで、伐採部分をロープで固定し、チルホール等の索引具を利用して、つるしながら切断を行う伐採に適用する。

ア 作業前に地形や周辺状況を十分確認し、伐倒方向および切断箇所を適切に決定すること。

イ かかり木となる恐れのある立木については、監督員の承諾を得たうえで事前に伐採すること。

ウ 作業に先立ち、障害となる枝を切り落としておくこと。

エ 伐倒時は、周囲の作業者との位置関係に十分注意し、安全を最優先に作業を行うこと。

オ 伐採した幹、枝葉は原則園内に放置してはならない。